

はじめに

静岡県総合教育センターでは、平成7年8月の開所以来、「学習と教育の中核的存在として、新しい時代の人づくりを目指す」ことを基本理念に、高度で専門的な研究を基盤とした質の高い研修の実施と学校訪問等による学校の教育活動の支援に取り組んできました。本書は、所員の校種や専門教科を超え、組織を横断して編成したプロジェクトチームによる、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習方法・指導方法の研究成果のエッセンスをサポートブックとして表したものであり、新学習指導要領への円滑な移行に向けて、教員の皆さんの不安や疑問を払拭し、授業改善へとつながることを願い上梓したものです。

かつて学校教育は、教科指導だけでなく多くの教育活動で、実践の積み重ねの中から得られた体験的・経験的なモデルをベースにさらに実践を積み上げるというスタイルが基本的に行われてきました。しかし、四半世紀の間に、科学技術は目覚ましい進歩を遂げ、理論的・科学的に様々な事象が解明され、教育分野においても認知科学や脳科学などの知見に基づき、人の学習過程に科学的なアプローチが行われ、学習科学という分野が誕生して発展してきました。科学的理解や論拠に基づいた、学習者中心の視点による質の高い学びの実現によって、これまでの経験則とは異なる、エビデンスに基づく授業づくりの試みが始まっています。学校での授業設計や実践も学習科学の視点を取り入れるとともに、ICT機器の活用など学習を支援する環境の整備によって、学習の質はさらに高められる時代に入っています。

本書は、学習科学研究の第一人者である、聖心女子大学 益川弘如教授、東京大学 白水始教授、静岡大学 河崎美保准教授の御指導と御支援を戴き、授業のデザイン、実践、分析・評価というサイクルに基づいた授業改善への取組を、研究協力校における具体的な実践や取組を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」実現のための授業改善の提案としてまとめたものです。校内研修や教科単位・学年単位での研修、個人での授業研究など様々な活用場面が想定されます。授業が変われば、子どもが変わり、学校も変わると言われます。多くの教員の皆さんが本書を手に取り、議論を深め、授業の改善に活用するとともに、これからの時代を生きる子どもに必要な資質・能力の育成が、静岡県のすべての学校で進んでいくことを心から願っています。

平成30年3月

静岡県総合教育センター所長 塩崎 克幸

「主体的・対話的で深い学び」実現のためのサポートブック —静岡県総合教育センター研究の軌跡—

目次

はじめに	1
静岡県総合教育センター所長 塩崎克幸	
この冊子で何ができるようになるか	5
伊藤直美	
1 こんな疑問や不安、要望はありませんか？	6
2 この冊子はこんな構成です	7
3 学校ではこんな使い方ができます	8
4 DVDには次のデータが収録されています	10
第1章 静岡県総合教育センターの取組	11
伊藤直美・森谷幹子	
1 子どもの未来に何を描くのか？ —研究のねらい—	12
2 なぜそれは「今」なのか？ —研究の潮どき—	12
3 どのような研究をしているのか？ —研究のすがた—	13
第2章 育成すべき資質・能力とアクティブ・ラーニング	23
聖心女子大学文学部教授 益川弘如	
1 はじめに —本研修で実現したいこと—	24
2 学習指導要領改訂内容と学習科学とのつながり	24
3 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために	28
4 「主体的・対話的で深い学び」が起きやすい授業の条件	30
第3章 授業設計診断の開発	37
齋藤 篤・筒井昌博	
1 はじめに	38
2 未来を切り拓く「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業設計	39
3 授業設計診断	44
4 授業のつくり方	46
Column 1 ジグソー学習の今と昔	55
筒井昌博	
Column 2 授業設計診断 ICT活用編	56
熊谷 仁	

第4章

学習評価から課題設定を考える

59

東京大学高大接続研究開発センター教授 白水 始

- 1 はじめに 60
- 2 育成すべき資質・能力とアクティブ・ラーニング 60
- 3 アクティブ・ラーニングの授業づくり 63
- 4 アクティブ・ラーニングの評価 66

第5章 小中学校の実践

75

佐藤 健

- 1 次期学習指導要領対応授業力向上研修 76
- 2 具体的な実践・取組 78
- 3 成果と課題・展望 86

Column 3 カリキュラム・マネジメントとは

87

夏目香織

Column 4 カリキュラム・マネジメント取組事例（中学校）

89

夏目香織

第6章 高等学校の実践

91

鈴木孝明

- 1 次期学習指導要領対応授業力向上研修 92
- 2 具体的な実践・取組 95
- 3 成果と課題・展望 104

Column 5 カリキュラム・マネジメント取組事例（高等学校）

105

伊藤直美

第7章 特別支援学校の実践

107

柘植美文

- 1 次期学習指導要領対応授業力向上研修 108
- 2 具体的な実践・取組 110
- 3 成果と課題・展望 120

Column 6 カリキュラム・マネジメント取組事例（特別支援学校）

122

柘植美文

第8章 研修の評価と改善を支える仕組み

123

静岡大学教育学部准教授 河崎美保

東京大学高大接続研究開発センター教授 白水 始

- 1 分析の概要 124
- 2 研修アンケートの分析による次期学習指導要領対応授業力向上研修 125
- 3 「授業改善の視点に関する調査」の記述から読み取れる教員の意識の変容 129
- 4 研修を改善し続けるために 134

- 1 小中学校 研修シート 138
- 2 高等学校 研修シート 142
- 3 特別支援学校 研修シート 152

Column 7 教室文化の醸成

160

稲垣 博

おわりに

163

聖心女子大学文学部教授 益川弘如

このプロジェクトを振り返って（編集後記）
スタッフ紹介

筒井昌博

研究協力者紹介

ますかわ ひろゆき

益川 弘如（聖心女子大学文学部教授）



専門分野：学習科学，認知科学，教育工学

略歴：博士（認知科学），中京大学情報科学部助手，静岡大学教育学部講師・准教授，同大学院教育学研究科准教授，学習科学研究教育センター（RECLS）センター長，東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF）協力研究員などを経て、平成29年4月より現職

主な著書等：『学びのデザイン：学習科学』（ミネルヴァ書房，2016），『21世紀型スキル：学びと評価の新たなかたち』（北大路書房，2014）他

しろうず はじめ

白水 始（東京大学高大接続研究開発センター教授）



専門分野：学習科学，認知科学

略歴：博士（認知科学），中京大学情報科学部助手，同情報理工学部准教授，国立教育政策研究所総括研究官を経て，平成28年4月より東京大学大学総合教育研究センター教授，並びに東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF）機構長，国立教育政策研究所フェロー，平成28年10月より現職

主な著書等：『資質・能力 理論編』（東洋館出版社，2016），『協調学習とは－アクティブ・ラーニング型授業で目指すもの－』（北大路書房，2016），『学習科学ハンドブック』（北大路書房，2016）他

かわさき みほ

河崎 美保（静岡大学教育学部准教授）



専門分野：学習科学，教育心理学

略歴：博士（教育学），京都大学高等教育研究開発推進センター助教，追手門学院大学心理学部講師，准教授を経て，平成28年10月より現職

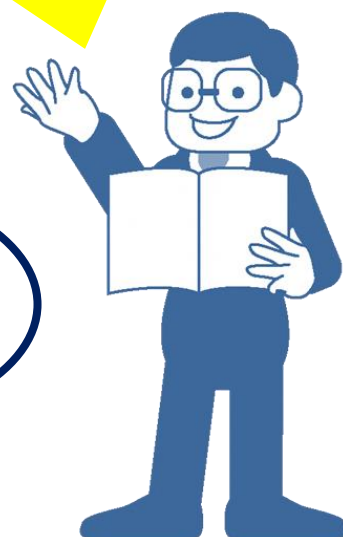
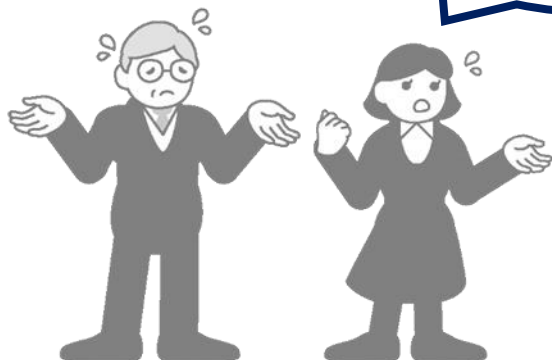
主な著書等：『学びのデザイン：学習科学』（ミネルヴァ書房，2016），『新・教職教養シリーズ2020教育心理学』（協同出版，2018），『0歳～12歳児の発達と学び』（北大路書房，2013）他

この冊子で **何が**できるようになる **か**

この冊子を使って、
学校の先生方みんなで
学習会や授業研究を行うことで、
「主体的・対話的で深い学び」や
「カリキュラム・マネジメント」の
質的改善に取り組めるようになります

**「主体的・対話的で
深い学び」**とは？
これまでの授業改善
と何が違うの？

「カリキュラム・マネジメント」
って何？



この冊子で何ができるようになるか

- 1 こんな疑問や不安、要望はありませんか？

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて



「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて

2 この冊子はこんな構成です

第1章

静岡県総合教育センターの取組 ❷ P 11

次期（新）学習指導要領に向けた「主体的・対話的で深い学び」実現のためのプロジェクトによる研究の軌跡をたどりました。リーフレット誕生の経緯やその特徴、次期学習指導要領対応授業力向上研修の概要をまとめています。

第2章

育成すべき資質・能力とアクティブ・ラーニング（益川 弘如 教授） ❷ P 23

平成29年度第1回授業力向上研修（高・特）（5月）の講義「育成すべき資質・能力とアクティブ・ラーニング」の内容が中心です。授業づくりの在り方や、第3章につながるリーフレットの活用方法について解説していただきました。

第3章

授業設計診断の開発 ❷ P 37

研究報告資料（リーフレット）の要である「授業設計診断」の特色・意義について、4項目「解決したい課題や問い」「考えるための材料」「対話と思考」「学習の成果」に沿って解説しました。理科の実践事例を基にした、授業設計の一例も示しています。

第4章

学習評価から課題設定を考える（白水 始 教授） ❷ P 59

平成29年度第2回授業力向上研修（高・特）（12月）の講義「学習評価から課題設定を考える」の一部を書き起こしたものです。「何ができるようになるために何をどう学ぶのか」を軸として、授業づくりと学習評価についてお話ししていただきました。

第5章 第6章 第7章

小中学校の実践 ❷ P 75

高等学校の実践 ❷ P 91

特別支援学校の実践 ❷ P107

授業力向上研修の実施状況に加えて、研究協力校等における具体的な実践・取組を、ねらい・内容・結果・自校の研修に生かすポイントなどに分けて、校種ごとに解説しました。成果と課題及び今後の展望についてもまとめています。

第8章

研修の評価と改善を支える仕組み（河崎 美保 准教授・白水 始 教授） ❷ P123

アンケート結果から見る研修の成果、また、「授業改善の視点に関する調査」の記述から読み取れる教員の意識の変容について分析していただくとともに、静岡県の研究成果について、研究者の専門的な立場から評価していただきました。

第9章

使えるシート集 ❷ P137

DVD収録

研修で使用したシートについて、特徴と使い方を、記入例とともに、校種ごとを示しました。DVDにはWordファイルとして収録してあります（DVDへの収録一覧はP10, うち掲載シート一覧はP137）。平成30年度授業力向上研修で使用します。

Column 1

ジグソー学習の今と昔 ❷ P 55

Column 2

授業設計診断 ICT活用編 ❷ P 56

カリキュラム・マネジメントとは ❷ P 87

カリキュラム・マネジメント取組事例（中学校） ❷ P 89

カリキュラム・マネジメント取組事例（高等学校） ❷ P105

カリキュラム・マネジメント取組事例（特別支援学校） ❷ P122

Column 7

教室文化の醸成 ❷ P160

Column 3~6

3 学校ではこんな使い方ができます

新しい
学び
の学習会

「主体的・対話的で深い学び」を理解するための学習会として

いつ？

年間研修計画の中に組み込む。

どのくらい？

20分～30分程度 × 5回（カリキュラム・マネジメントも含む場合は6回）

実施計画（例）

※各学校の実情に応じて研修時間や順序をアレンジしてください。

①	新学習指導要領の理念を共有するⅠ これからの時代を生きる子どもに必要な資質・能力 「主体的・対話的で深い学び」実現のための授業づくり	第2章
②	新学習指導要領の理念を共有するⅡ 「主体的・対話的で深い学び」実現のための課題設定 「主体的・対話的で深い学び」実現のための学習評価	第4章
③	「主体的・対話的で深い学び」が実現する授業を設計する 授業設計診断の4項目 具体的な授業の作り方	第3章
④	各校種の実情を知る 次期学習指導要領対応授業力向上研修の概要 実践事例 自校の取組への評価と改善の見通し	第5章 第6章 第7章
⑤	（各学校の実情に応じて）	Column 1, 2, 7

進め方（例）

- 1 読む（個人／全員）
- 2 研修主任等がテーマに沿って解説する。
- 3 3～4人のグループで意見交換する。
（自校の課題や、これから取り組めそうなことなど）
- 4 各グループの発表を共有する。

カリ
マネ
の学習会

「カリキュラム・マネジメント」を理解するための学習会として

⑥	カリキュラム・マネジメントの理念を共有する カリキュラム・マネジメントとは 実践事例 自校の取組への評価と改善の見通し	Column 3~6
---	--	---------------

【目的に応じた演習】 ■ 次の **カリマネ** シートを使用します

目的1 教科横断を意識したい！ ☛ P146, 148, 156

「資質・能力の育成につなげるカリキュラム・マネジメント」ワークシート1【シート（高-3）】

「資質・能力の育成につなげるカリキュラム・マネジメント」ワークシート2【シート（高-4）】

「教科横断的に取り組む資質・能力の育成」【シート（特-5）】


目的2 実現状況を点検したい！ ☛ P150, 156 **他の校種でも活用できます**


「何から始める？『カリキュラム・マネジメント』（高等学校編）」【シート（高-5）】

「資質・能力を育てるためのカリキュラム・マネジメント」【シート（特-3）】

授業設計

■ 次の シートを使用します

授業設計アイデアシート【シート（小中－１）】  P138

学びのデザインシート【シート（高－１）】  P142

アクティブ・ラーニングの視点からの授業設計シート【シート（特－１）】  P152



益川教授からのメッセージ（動画）

サポートブック発行にあたり、研究顧問の益川教授からメッセージをいただきました。



使い方ガイド（動画）〔視聴時間：約12分〕



サポートブックの内容とともに、学校での使い方を簡単に解説しました。校内研修等で視聴してください。

講師による講義・演習スライド（PDF）

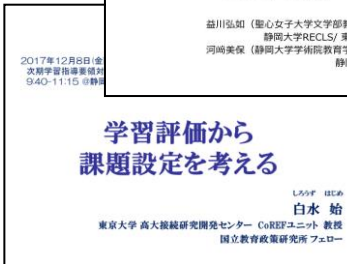
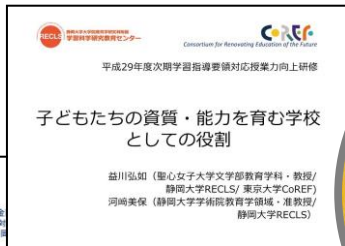
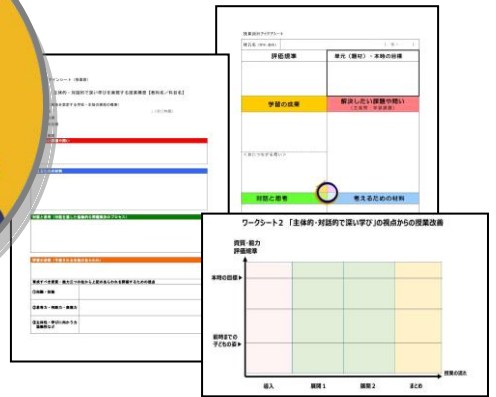
講師による講義・演習資料をPDFで収録しました。

	小中	高・特
28年度①	○	○
28年度②	/	
29年度①	○	○
29年度②	○	○

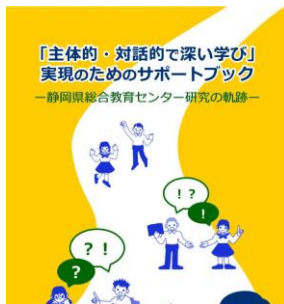
第9章 使えるシート集（Word）

授業設計 **学習評価** **カリマネ**

研修で使用したシートをWordファイルで収録しました。シートの一覧はP137を参照してください。



リーフレット（28年度版,29年度版）（PDF） サポートブック原稿／全頁カラー（PDF）



必要に応じて、各学校にて増刷してお使いください。

総合教育センター説明スライド（PDF）

総合教育センターの研修スタッフが作成した、演習時における説明スライドをPDFで収録しました。

	高・特
28年度①	○
28年度②	○
29年度①	○
29年度②	○

